

平成 27 年度 第 4 回村上地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成 27 年 12 月 21 日（月）14:00～15:30
- 2 開催場所 村上市役所 5 階 第 5 会議室
- 3 出席委員 伴田攻、山口治雄、本間賢五、小野長昭、片野高義、井上敏雄、山貝世津子、浅野謙一、吉田智子、楠田 正
- 4 欠席委員 塚田 進、水野谷理恵
- 5 出席職員 (自治振興課)佐藤課長、太田課長補佐、林係長、矢部主査
- 6 傍聴者 0 人
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成27年度 第4回 村上地区地域審議会 会議次第

日 時：平成27年12月21日（月）

午後2時00分～

場 所：本庁舎 5階 第5会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 報 告

・村上地区地域活性化推進事業について【資料 1】

4 議 事

・第2次村上市総合計画策定に向けての提言書（案）について【資料 2】

5 そ の 他

6 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (14:00)

事務局； 皆さまごめんください。本日はお忙しい中、また道足の悪い中お集まりいただきまして、本当にありがとうございました。先日の村上版まちの駅を目指してという講演会では、多数の委員の方に出席していただき、また、大勢の市民の方にもおいでいただきました。大変参考になる講演だったと思います。それでは定刻になりましたので、ただいまから第4回村上地区地域審議会を開会させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局； 本日の会議につきまして、私の方から進行をさせていただきます。本日の欠席委員ですが、事前に塚田委員から本日欠席する旨を伺っております。また、水野谷委員につきましては、ご連絡をいただいておりますので、おそらく遅れて出席されるものと思いますので、ご了承ください。それでは、座って進めさせていただきます。次第の2挨拶ということで、会長からお願いします。

2 挨拶

会 長； ごめんください。もう10日くらいで年末が迫っているという中で、このように集まいただき、大変ありがたいと思っております。先回は、村上市民ふれあいセンターの2階で会議室がどうも場馴れしていないせいか、実は私、この部屋が一番好きでして、目の前にはお城山というランドマーク、あとは空が広がっています。天空の会議室といいますか、こういうところで会議をすると非常に冴えてきます。皆さまの意見が本当にまとまるということで、今日も心ウキウキしながら進めたいと思いますので、よろしくどうぞお願いいたします。

事務局； ありがとうございました。3の報告を事務局からいたします。

3 報告

・村上地区地域活性化推進事業について

事務局； 【村上地区地域活性化推進事業について説明】

委 員； パネル展は5日間で延べ何人くらい参加したのでしょうか。

事務局； 申し訳ございません。村上市民ふれあいセンターが常時開いている中で、他のイベント等と重なっている方が多くいらっしゃるものですから、正確なカウントができず、それを村上市民ふれあいセンターの職員にお願いできなかったものですからカウントしておりません。申し訳ございません。

委 員； 決算書の比較がマイナスで表記されると見た感じでは、不足だったように見えます。

事務局； 表記上の問題で申し訳ございません。残額ということになります。他にございませんでしょうか。無ければ報告を終わらせていただきたいと思います。次の4議事並びに5その他につきましては、会長の方で進行

をお願いいたします。

4 議事

・第2次村上市総合計画策定に向けての提言書（案）について

会 長； それでは、今日は第4回目ということになります。議事の方に移らせていただきますが、4の議事、第2次村上市総合計画策定に向けての提言書（案）について説明をお願いいたします。

事 務 局； それでは、資料2並びに資料2の別冊の方をご覧ください。先般の第2回以降、審議会の方で各自意見を出していただいた案件、並びに協議していただいた内容を私どもの方でまとめさせていただきました。先に別冊をご覧ください。以前、委員の皆さまに提出していただきました現状と課題、解決するための方向性をまとめたものです。この中の一部を第3回の会議で協議していただき資料2の方になりますが、このような形でまとめさせていただきました。なお、別冊については全ての内容を網羅しておりますので、提言の際に合わせて提出させていただくこととなりますのでご了承願います。本日は、この提言書の内容について再度ご審議いただくこととなります。提言書の上段については全ての地区の地域審議会でも共通の内容となっておりますので、1から5についてのご審議をお願いしたいと思います。1から1項目ずつということによろしいですか。

会 長； そうですね。お願いいたします。

事 務 局； 【1項目目読み上げ】

会 長； 全部でその他も入れると6項目になると思います。1項目目の子育てということでございます。この文言についてこのような提言の仕方でいかがかということですが、前回、村上市民ふれあいセンターでやりましたら、会場が悪かったのかなかなかまとまらずに、うまく、スムーズに理解できるようなものになってこなかったのですが、事務局でスリム化といえますか、きちんとまとめてあると感じましたが、皆さんいかがでしょうか。本来であれば子育てという切り口は、やはり女性の委員が半数近くいけば理想なんだろうと思います。特に若い世代の方々が参加されていけば一番良いのではと思いますが、皆さんいかがでしょうか。なかなかそういう具合に行かないものがありまして。

委 員； 今の子育ては、男性が協力しなければ子育てができません。3か月検診などに行くと、夫婦2人で子どもを連れてだいたいお父さんが子どもを抱っこしています。そういう感じでやっていかなければ子育てはできないという大変ですが、私たちが子どもを育てていた時とは全然スタイルが違いますから、2人でやるのが当たり前という時代になってきていると思うので、男性にも一生懸命手伝ってもらわなければ子育てはこれからは難しいのではないかと思います。

会 長； 全くそのとおりです。

委 員； 今のお父さんは、私たちの世代と違って本当によくやると思います。見ていてこんなことまでしなくても良いのにと感じるようなこともあります。

す。洗濯もするし掃除はするし、でも結局あまり分業になっていないということ。好きでやっているんだからというから、そうなのかと思いますが、親がほとんど働いています。本当にうちも忙しい時は、子どもたちにもお弁当を作って食べさせています。学童保育はすごく助かっていましたけど、中学生はダメなのが残念です。

会長； この前の話で課題として出ましたが、学童保育は土日が利用できないということで、その辺をどううまくやっていくのかという話が出ていました。

委員； 本当に忙しいから、お爺さんお婆さんが見てくれるところもあるだろうけれど、お爺さんお婆さんもまだ働いているから、若い2人が共稼ぎで出るとなると保育園が充実していないと、なかなか共稼ぎにも出られない。共稼ぎをしても結局、保育料に片方の親の給料は多分全部行くのではないかと思います。それでも共稼ぎしますからね。

会長； 地域審議会というところどうも名前が堅苦しいのですが、そんな中で日常生活の話が匂い立ってくると非常に良い会だなと思っています。できるだけ審議会だとか、こういう名前に近寄らないように意見を出していただきます。生活の匂いをさせていくということが一番であり、やはり総合計画は、市の行政の計画ではなく、市民の総合計画にしなければならぬ。これは当たり前のことなので、そこに提言するわけですので、ぜひ生の声を皆さんからお願いします。

委員； うちの小学生は、ほとんど家にいません。ランドセルを投げて、どこへ遊びに行くかというところまいる公園に行って走ったり何かしているようです。そういう場所も必要だと思います。昔のことを言うと年寄りだと思われるかもしれませんが、やはり大人の見えるところで遊んでいました。囲われているような場所ではなく。そういう街の中に公園があれば、みんなが見えるので安心です。三面川の公園とかだと周りに誰もいなくてなかなか見えないじゃないですか。賑わっているところに子どもの遊び場があると良いと思います。

会長； 昔というか、子どもたちはまちぐるみで育てていくという感じで、叱ったりしてましたよね。

委員； 土日なんかでも子どもの姿を見ないですよ。

会長； 私、先ほど女性の委員なんて言いましたが、説得力十分であります。反映されると思います。本題に移りますが、気持ちは気持ちとして今話したようなことを定着させたい。そのためには、ということがありますが、この内容で提言するということがいかがでしょうか。どこか落ちているようなことがあれば付け加えたいと思います。

委員； 山辺里地区まちづくり協議会では、11月29日に中学生と働く世代でワークショップを実施しました。働く世代は、どちらかというと子育て世代のお母さん方とシニア世代、はじめは各世代ごと、その後は混ぜてワークショップをやりました。特に1番の課題についての関連として、農村部という特殊事情はあると思いますが、特に子育て世代については、様々な悩みがあるけれど、集まる場所や交流する場所がない。山辺里地

区は集落と集落が離れているため、保育園や小学校に着た時に話をするというのが実態です。提言の文言としては、これでいいと思いますが、具体的な部分では、全部繋がっているからどこかの空き家を利用してということができると思いますが、山辺里地区ではそういったようにはいかないの、公共的な所で場を設けてもらうとかということがあります。もうひとつは、別冊に若者の雇用の充実というものがありますが、ワークショップでは若者の定住ということが、どの世代からも出ていました。その点が弱いように感じました。

会長； 十分それに繋がっている課題というか問題ですからね。

委員； 特に野球場の下の圃場整備による創設非農用地の活用が具体化されていないので、農協やあるいは土地改良区などが検討はしているのだと思いますが、その部分を含めて若者の定住に向けての具体的な事柄を提言していく必要があると思います。

事務局； 今の2点についてですが、1点目の子育てのための情報の収集場所は、別冊の「子育て環境の充実」の項目にあります。全体の様々なご意見をいただき、子育て世代だけではなく、お爺ちゃんお婆ちゃん世代から子どもたちまで全部の世代での整理が必要ではないかということで、ここに全て集約をさせていただきました。2点目の定住の関係は、同じく「子育て世代の減少」の項目に魅力ある雇用の場の充実、婚活による少子化の解消、若者の雇用の充実、空き家による移住促進などということで具体的なものを載せております。これを提言し、それを踏まえ施策でどう反映していくかという形に持っていければと考えております。

会長； 行政というのは、確かに言えばきちんと答えます。それは正解なんです。間違っていないが見ると活字なんです。生きたものに何とかできないかと常に見ています。事務局の返答が間違いではないのです。どうしたら生きたものになっていくのかと思います。このことは20年前に議論した同じことを今、議論しているんです。

委員； どうしても絵に描いた餅になることが多いです。3人目の支援など、若い人への支援に税金を使うようにしていくと住みやすくなると思います。

会長； ともあれ、まとめるとこういった活字になりますが、このような現場の声があつてまとまって行ったというプロセスを加味していかなければならないと思います。20年前と同じ議論をして、この前、村上市総合計画審議会でも発言をしましたが、進捗管理システムが機能していないのではないかというものが多くあります。これからは、きちんとやって行かなければならないと思います。そこを汲み取ってもらいたいと思います。子育てもそうですし、先日の明石あおいさんの講演の中でも話が出ましたが、「あかちゃんの駅」くらいは何とか村上市でもというような話をした事があります。こういったことを通じながら総合計画の中に盛り込んで欲しいということで提言していただきたいと思います。

委員； 魅力ある雇用の場の充実なんて当たり前です。婚活による少子化の解消も当たり前だし、具体的な事を書いたらどうでしょうか。

委員； 出生率が年々低下しています。そのことで子どもたちの社会性や地域の少子化に影響していると思います。様々な影響があると思いますので、これまで以上に地域が一体となり高齢化社会に対応しなければならないと思います。私は、上海府地区町づくり推進委員会の会長をしています。保育園の統廃合の話があり、8集落の住民に説明会があり、集落説明会の後、臨時の保護者説明会があり、昨日は最終的に市長と福祉課長と役員の意見交換会で上海府保育園は平成28年度は休園、29年度に瀬波保育園に統廃合ということで、保護者は誰も反対する人はなく大賛成ということでした。上海府保育園が瀬波保育園に統廃合されたとしても、今までやっていた運動会や文化祭には参加して欲しいと思います。育児・教育というのは地区の役目でもありますから、これから高齢化社会の対応を急がなければならないと思います。

会長； 委員がおっしゃることは大切なことで、地域の声を拾っていけば、自ずと総合計画の中の文言が変わっていくと思います。ただし、今日、この文言を丁寧に議論していくと時間が足りなくなると思います。今、提言書に書かれているもので提言してはいかがかと言うことです。この部分に特化して、「1. 子育て世代の教育」という部分での文言の中で何か修正、改善するところがありましたら、そこを議論させていただければと思います。

委員； 地域が広いから、各地域の思いをまとめるのが難しいです。最終的には活字にするしかないと思います。

会長； これは、無いものを求めているようなところもあります。美文にしたとしても実感性が無いと言われれば、そこまでだと思います。このような内容でまとめていきますが、背景としては、こういうようなものがあるのだということを十分議論していただくということではいかがでしょうか。これを直しても直した内容なりの議論が出てきます。事務局が苦勞した跡がかなり見受けられます。

委員； 何にも無いようなところから出すようなもので大変です。

会長； 実は、村上市総合計画審議会の中で一番最初に発言したのですが、第1次村上市総合計画の総括をやっていただきましたが、この議論を積み重ねてから次の議論に移って欲しいと主張しましたが、どうしても時間的な問題がありできませんでした。ようやく次回の第5回村上市総合計画審議会第1次村上市総合計画の総括を議論していくということは決まりました。順序が違うのではないかと言いましたが、そこは勘弁して欲しいということでした。村上市総合計画審議会の中で私と副会長で主張すべきことを主張してまいりますので、この文でご納得いただけませんでしょうか。十分に皆さんのお気持ちは汲み取ったつもりであります。よろしいですか。

一 同； はい。

会長； 1は、直さずこのままということでお願いいたします。それでは、2項目目をお願いします。

事務局； 【2項目目読み上げ】

- 会長； ありがとうございます。今言われたように地域のコミュニティを充実させていくと、この他に対応の仕方は無いのではないかと感じております。そこで、いろいろな方策が皆さんから出ておりましたが、この部分について皆さんから議論をお願いします。
- 副会長； 「買い物難民」と書いていましたが、今は難民問題が出てからあまり使わないようです。たまたま、駅前の村上総合病院の移転の問題の際に田端町の商店街の方から、あれだけ活発に活動しているのに肉一つ買うことができない。JAにいがた岩船が直売所を出店してくださいましたが、生鮮野菜が中心です。本当に困っているんだということでした。また一方で瀬波地区は何もありません。瀬波巡回バスが来るのを待っているか、バイクに乗るお年寄りしかいません。学校もあって人が多く住んでいる地区ですが何も無いということに驚きまして、駅前開発もいいが、このような状況で、若い高校生もいる場所なのということから書きました。比較的1項目目よりもイメージしやすいのでまとまりの部分としては良いのではないのでしょうか。
- 会長； ありがとうございます。実際にお話を聞いてみると確かにそうだなと実感しました。このような課題は10年前には無かったと思います。
- 委員； 駅前の直売所の充実をしていきたいとご指摘をお聞きして考えました。もっと大きな施設にしたかったのですが、場所が無く、観光バスも駐車できないような中途半端なものになってしまいましたが、付加を付けて皆さま方に利用してもらえそうな施設にしていきたいと思います。
- 委員； 直売所があると観光客も行きます。分かり難いから改善をして欲しい。
- 会長； 買い物のテーマというと、上海府地区では深刻受け止めているのではないのでしょうか。
- 委員； 皆さん車を運転しますので。
- 会長； 日常生活ということでは、さほどは問題ないということでしょうか。
- 委員； 3項目目を出していますが、時化ると移動ができなくなるということがあります。
- 委員； 車が無いと買い物もできません。
- 会長； 村上市内で買い物はしますか。
- 委員； そうです。私達が子どもの頃は、酒屋さんなどが御用聞きに来ていました。
- 副会長； 瀬波地区でも酒屋さんが御用聞きに来ていて貴重でした。
- 会長； 地域のコミュニティを充実させるということが載っているものですから、各集落等でしっかりと地域コミュニティをつくって行けば、その中で買い物というテーマの方策も出るのではないかと思います。ただし、コミュニティが希薄なわけですから、それらも含めて課題だと思います。
- 委員； 六斎市の公的資金の投入というのは、どういったものですか。
- 会長； 私も非常に感心を持っているものですが、一時は170軒の出店があった時期もあったのですが、今は70軒ほどしかなくなったということです。六斎市は、高齢者が利用していて自転車や徒歩で買い物に来ているということですが、非常に寂しい状況になっています。

委員； 大事な市場です。町人町と武家町の境目に立地していて、士族の人たちが町人町へ行かなくても済むように設置したものです。そういう歴史的なものも考えると残して欲しいとお願いしています。今は産地直送のお店があったり様々なお店が地域にオープンしてきているものだから、市場の出店数は減少して70軒ほどしかなくなっている。そこへ若い人たちが作った物を月に1回程度でいいからフリーマーケットのようにして出店するとか、混ざってやるとか、何か良い方法を考えて存続させていった方がいいのではないかという話があり、支援することを考えました。

会長； 公的資金を投入する時期をとおり過ぎているのではないかというくらい、言葉は悪いですが衰退してしまっているように感じています。観光面でも繋がっていますよね。

委員； 季節の市場なんですよ。椎茸市や花市、鮭市だったりですね。

会長； 話せばきりはないのですが、このような文言でいかがでしょうか。

同； はい。

会長； 3項目目に移らせていただきます。お願いします。

事務局； 【3項目目読み上げ】

会長； はい、確かにこのとおりなんですけど、表現が硬いですね。どうしても抜けきらないです。提言書なんて使わなければ良い。だいたい「狭隘」なんていう言葉はおかしいですよ。行政言葉じゃないですか。曲がった道とか細い道とか、そういう言葉を使ったらどうですか。行政用語というのは非常に読み難いですし、ある自治体では、こういう言葉をできるだけ使わないで、日常使っている言葉でもって説明しようということで努力されている自治体もあります。これは偉いなと思っています。できる範囲内で結構なので、特に総合計画について提言するというのであれば、分かりやすく、市民の人たちが見てなるほどと思えるような、先ほども話したような市民の総合計画にさせていただきたいと思っております。さて、本題に入ります。前回いろいろと議論したわけですが、道路についていかがでしょうか。

事務局； 補足をさせていただきますが、道路環境については、個々個別の路線等の要望が出てくる案件です。そこで別冊の方にできるだけ詳しく乗せているのが実態です。その点もお含みいただきご協議いただきたいと思います。

会長； ということで、いろいろ方向性が出ております。各地域によって道路というものの捉え方が若干違っているのではないかと思います。少し横道にそれますが、先日、東京大学の教授が講演していかれましたが、道路というのは人を大事に考えた道路作りをしなければならないんだという認識を持っていました。確かに車優先、車を中心にした道路計画というのはこれからはあってはいけないんだということでしたが、私達が暮らす地域では道路そのものに歴史があり、複雑な問題だと思いますが、そういった道路計画もあります。特に先ほどの買い物などを考えた公共事業の整備という考えもあると思います。

委員； 他所の県に行ったときに、道路の両脇が花畑だったのです。道路がき

れい、美しいだけで少し不便だけど通ってみようかというふうには考える。例えば、黒堀も真直ぐに行けば別に速く着くのだけれど、気分がいいからそこを通ってみようと思う。そういう道路があるわけです。不便な道路ほどきれいに着飾っていくということも手ではないかと思えます。

会 長； 道を広げればもっと楽になるのだろうけど、それでは道の味がない。機能がいいだけでは、やはりつまらない地域になってしまいます。山居町の道路を走ると、路肩の花壇など地域の人たちが一生懸命に花を植えたりしてきれいに整備していて、気持ちよく通れています。

委 員； お年寄りが多いから、歩いて安全な道路で脇に座れるようなベンチがあるような環境。朝のドラマの「あさがくる」を見ていて道路を見るとベンチがあると思えました。ベンチがあると座ることもできるし話をすることもできる。それがあちらこちらにあります。

副 会 長； すわれっチェアもありましたよね。

委 員； 建設業協会の青年部が、すわれっチェアでベンチを作って配布しましたが、もっともっと欲しいなと思えます。

委 員； 景観も大事だが、安全な暮らしを最優先してもらいたいと思えます。

会 長； 高齢者の除雪・排雪が生活の中で非常に困っているということが話されていると思えます。

委 員； 除雪というのは、優先順位というか広い道路からやって小路が一番最後になりますよね。

事 務 局； どうしても幹線道路、交通量の多い順になります。袋小路などは最後になります。国、県、市でそれぞれ管理していて、市道の中でも幹線道路でも1次から4次まであり、その順番で除雪していくことになっています。この他に歩道の除雪も行っています。先ほど申し上げた狭い袋小路などは、歩道の除雪の際に行われることが多くなっております。

会 長； 楠田委員、いかがですか。

委 員； 大変良くまとめられていると思えます。第3回の村上地区地域審議会においてこれらについて検討していて、会長が良くまとめられてこのスタイルになったのだと思えます。会長がおっしゃるとおり「狭隘」については、行政言葉といえそうですので、一般的な言葉にした方が良くと思えます。

委 員； ある程度、論議したわけだから、ある程度やって行かなければ前に進まないと思えます。

事 務 局； 別冊に今日の議論の一部を加えさせていただきたいと思えます。「(3)交通」の「1. 道路環境の整備」の「⑧観光客が近頃多くなってきているため、歩く人が多くなってきた。」これに対応したものが、「・歩行者天国の実施」となっていますが、ここにもう一段、歩行者だけに限るわけではありませんが、「景観に配慮した道路環境の整備」という一文を別冊に加えたいと思えますが、いかがでしょうか。

会 長； 今、景観に配慮したということを委員が盛んにおっしゃっていました。良い提案だと思います。そういうようなことで交通については、以上にしたいと思えます。それでは4項目目の地域と学校の連携についてをお

願います。

事務局； 【4項目目読み上げ】

会長； まさにこのとおりであります。しかしながら、皆さんから付け加え、加筆するようなところがございましたら願います。

委員； 村上小学校や村上南小学校で鮭のことや竹灯籠のことを学ぶ機会がありますが、私たちの頃は地域を学ぶ機会というのは学校では全く無かったのですが、今は授業の中に取り入れられていて知っているし、村上が好きだという子どもがほとんどです。村上南小学校の子どもは村上大祭などに関係が無い子どもが多いのかなと思っていたら、村上小学校よりも好きな子どもがいたりして、小学生では村上が大好きだから必ず村上に戻ってくるという子どもが多いです。ですから小学校ではそれほど心配ないと思います。

事務局； 実は前回の会議で説明しましたが、上海府地区の事例を挙げさせていただきました。上海府地区では、小学校は上海府小学校ですが、中学校は村上第一中学校になります。そうすると地域と離れてしまいがちになりますが、地域の運動会や文化祭では地域の中学生がスタッフとして参加しています。今後、小学校、中学校の在り方がどうなっていくのか分かりませんが、そういった繋がりを一層大事にしていきたいということを提言書に盛り込ませていただきました。

委員； 子ども同士はすぐに仲良くなります。一緒に学ぶということは、地域が一体になるためには良いことだと思います。

会長； 村上南小学校の取組みでは、おやじの会を立ち上げて学校と地域が交流をしながら非常に良い活動をやっています。やはり学校も地域に馴染むという努力をしなければならぬと思います。教育環境の整備に取り組む必要があるということで結ばれておりますので、この中にそれぞれの部分が包含されているということでよろしいでしょうか。

一 同； はい。

会長； では、5項目目をお願いします。

事務局； 【5項目目読み上げ】

会長； なるほど、いいところを見て聞いているということですから、非常に期待される場所ですが、計画や制度というものは、常に市民の目線に立ってやって行かなければならないと、あくまでも行政の計画や制度であれば、はっきり申し上げますが形骸化します。たちどころに形骸化するの間違いはない。やはり暮らしの中にこの制度、計画が入っていかないと、特に第2次村上市総合計画は、第1次村上市総合計画とは異なり暮らしの中に密着させていくという本気度が重要なことと感じ取っているところであります。事務局から説明のあったとおり暮らしを大事にということが付け加えられておりますので、常に市民目線に立った行政運営に努めていく必要があるということで提言されておりますので、よろしいかなとは思いますが、委員の皆さんからのご意見がありましたら、お願いいたします。

副会長； 今の意見は、前回の村上市総合計画審議会の最後の締め、ことに大

きくしっかりと会長が発言されたことであり、会議に出席した皆さんが緊張感を持って締めましたので付け加えさせていただきます。

委員； 提言書と直接かかわりが無いかもしれませんが、まちづくり協議会が発足して具体的に事業を展開しています。山辺里地区では4月から事務局員の体制も強化されたということです。この間、どこの地区でも地域の実態を把握していると思っています。したがって、政策立案や事業化、予算編成ということについて、彼らの意見を十分に聴取していただけたら地域の要望は把握していると思います。

委員； 最後の様々の審議会、協議会、委員会の整理整頓を是非やっていただきたいと思います。今までは、こういうことをやっても先が見えなかったが、少し先が見えたように感じます。行動が伴わなければならないと思います。

会長； これは、総合計画という計画なんです。これから財務計画、実施計画へと移っていくわけです。まだまだ先に難題があるわけです。今の提言書について、その他として何かございますか。その他は確かにあるんですよね。

事務局； 別冊の最後のページになります。

会長； この件については、どうなりますか。

事務局； 「(6) その他」についてですが、洋上風力発電、耕作放棄地対策、空き家対策、交流人口対策ということで4点挙がっております。この中から1点を絞るということは非常に難しいということと、事業が進捗途中のものもあり、まだ、捉えられていない部分もございます。生活目線での提言となりますと、耕作放棄地対策、空き家対策、交流人口対策あたりになるかと思いますが、いずれも村上地域としてあげるとなると、これらを前面に出してまとめ上げるということは、これまでの流れからしてもどうなのかという部分があり、これらは別冊としてストレートに載せるということで、提言書は別冊も一体のものとして捉え、そのまま残したということです。

会長； 私もその方が良いと思い聞いておりました。皆さんいかがですか。実は、その他というのは私は好きではないのですが、どうでもいいことのように感じてしまいます。(6)として生のまま載せていこうということです。

委員； 「4. 交流人口対策」について、ストレートに移住対策としてはいかがでしょうか。その手始めとして、村上出身者や縁のある人と交流を深め移住の取っ掛かりにするという考え方ではどうでしょうか。

委員； 青砥武平治さんのご子孫が村上に住むようになりました。内藤様やいろいろな人がいるわけです。そうすると東京の郷友会などが応援してくれます。そういう人たちをしっかりと捕まえて、村上をPRしてもらうことから始めてはどうかと思いました。市でもそういった人のリストを作り具体的に行動し、そこから移住の話もしていけばいいと思います。一肌も二肌も脱ぎたいという人がいますので、もったいないと思います。

会長； ふるさと納税も伸びているそうですね。

委員； ふるさと納税で100万円も納税してくれた人もいます。1万円以上、5万円以上、10万円以上などでお礼が決まっていますが、100万円は無かったそうです。それだけ村上のことを思ってくれる人がいるということで、ありがたいと思います。

会長； 先ほどの交流と移住についてですが、交流と移住はどのように整理したら良いのかと思いながら聞いていました。

委員； リタイヤした人が夏場だけでも良いから、暮らしやすい時期だけでも良いからセカンドハウスみたいな形で住むことはできないかと思いました。それをきっかけとしてやっていくのもありなのではないかと思えます。

会長； 都会に暮らす方には、田舎暮らしが魅力的に映っているような感じがします。

委員； 私たちの世代で都会に暮らしている人がいますから、帰ってこようかという人も中にはいると思います。

委員； まず、同級会、同窓会をすることが大切だと思います。60代くらいになると村上が恋しくなってくるものです。どこかで同窓会をする場合に補助金を出しているところがあったと思います。

会長； 都会に暮らしている人への情報が不足しているのかもしれませんが。

事務局； それでは、「(6) その他」の「4. 交流人口対策」について、文言の修正と付加えをしたいと思います。「4. 交流人口対策」を「4. 移住・交流人口対策」とし、現状と課題、解決するための方向性が同じ内容になっておりますが、お話を踏まえ移住促進対策が現状として不足しているということ載せ、解決するための方向性の一つとして村上出身者あるいは、村上に縁のある人との交流を進めるという形にさせていただきたいと思います。

会長； そうですね。これできれいにまとめたのではないのでしょうか。うまくまとめていただいたので、そういう文言でいかがでしょうか。これならストレートに入ってくるのかと聞いていて思いました。良いまとめでした。

5 その他

会長； それでは、議事は終了ということで、5のその他に移ります。事務局をお願いします。

事務局； 今後のスケジュールについて、2月2日に5地区合同の地域審議会正副会長会議があります。ここで市長に対する提言を行います。出席者は、各地区の正副会長並びに事務局となります。その後、現在は未定ですが、今年度予定していた会議については4回で終了となります。しかしながら、委員の任期は4月までとなっておりますので、その旨、ご了承願います。もし、何かありましたら事務局からご連絡させていただきます。

会長； 委員の皆さまから、何かありましたらお願いしたいと思います。その他ございませんか。それでは、お返しします。

事務局； ありがとうございます。今日ご審議いただきました提言書について文言の修正のみですので、こちらの内容で2月2日の正副会長会議に臨みたいと思います。それでは、閉会のご挨拶を副会長からお願いいたします。

副会長； 大変お疲れ様でございました。年末の忙しいところ本当にありがとうございました。事務局には難しい提言を簡潔明瞭にまとめていただいたと思っております。山口会長以下、皆さま大変ありがとうございました。良い実りのある結果が得られますようお祈りいたしまして、また、来年もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

6 閉会 (15:30)